

日本経済政策学会ニューズレター

NO. 20 2006

目 次

◎会長挨拶.....1	◎各部会報告.....18
◎総会議事録.....2	◎全国常務理事会報告.....22
◎学会役員.....4	◎委員会報告.....23
◎会員状況.....8	◎全国大会・国際会議(19年度)のご案内.....24
◎平成17年度決算書.....15	◎「学会賞」選考について.....24
◎平成18年度予算書.....16	◎その他.....25
◎国際会議基金 及び 名簿・選挙積立金報告書.....17	◎日本経済政策学会本部・部会事務局連絡先.....26

ご 挨 拶

会長 丸 谷 冷 史

第63回全国大会は5月26/27日に九州共立大学で開催されました。近年は多くの学会がこのシーズンに開かれるようになり、中には他学会とかけもちという会員もおられ、本学会としても対応を考えなければならない時期がきているようでございます。しかしきわめて魅力的で時宜にかなったプログラムと杉野大会運営委員長以下当番校各位のご尽力のお陰をもって、会員多数の参加をえて多大の成果をあげることができましたのは誠に喜ばしいこととさせていただきます。各位のご努力と熱意に厚く御礼申し上げます。さて5月26日の総会でもご報告いたしました、従来から懸案であったいくつかの取組が実を結びました。第一は経済政策ジャーナルの学会特集号の発刊でございます。大会報告論文をベースとした号の編集は、本学会が会員各位の名実ともに政策学研究の拠点となるための大切な一歩であると考えます。第二は昨年12月に開催された国際会議の、これも報告論文をベースにした電子ジャーナル(International Journal of Economic Policy Studies)がこの10月に創刊されたこととさせていただきます。海外の研究者と並んで会員の論文が多数掲載され、権威ある、しかし会員諸氏にとって身近な英文雑誌として発展することを期待いたします。学会のHPからIJEPSにリンクが張られておりますのでご覧下さい。

このような新たな事業は極力経費を抑える形で導入して参りましたが、皆様ご承知のように本学会の財政は必ずしも健全とはいえない状況にございました。好況の実感がいまだともなわない中で、学会費の引き上げを提案することはできれば避けたい選択肢でございましたが、各位のご理解を賜り、5月26日の理事会で個人会員の会費を1万円に、学生会員の会費を5千円にする改正案をご決定いただき、同日の総会でご承認をいただきました。会員各位のご理解に深謝し、この欄をお借りして改めてご了解をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、私の任期もあと半年あまりとなり、先の総会で役員選挙の告示をいたしました。役員選出内規に従い、平成19年2月に第10期常務理事の選挙と、理事の選出を行います。なお、役員選出内規は会員名簿(3～5ページ)に記載されておりますのでご確認下さい。

日本経済政策学会常務総会議事録

日 時：平成 18 年 5 月 27 日（土）13：30～15：00

場 所：九州共立大学 自由が丘会館

1. 大会校挨拶

第63回大会の開催校を代表して佐古宣道九州共立大学学長から挨拶があった。

2. 総会議長の選出

総会議長に川野辺裕幸副会長を選出した。

3. 報告事項

(1) 本部会務報告

会長より、会員状況、会員異動について報告があった。

(2) 各部会報告

各部会の代表者より、活動報告があった。

(3) 各委員会報告

① 川野辺裕幸副会長（組織委員長）より、学会規則で今後検討すべき事項として、理事会成立の定足数、役員選出における名誉会員の取り扱い、地方部会代表の役員としての位置づけ、があるという説明があった。

② 佐々木實雄常務理事（出版編集副委員長）より、第3巻2号（学会特集号）について、19本の投稿論文及び学会奨励賞受賞論文を掲載したことの説明があった。次に、鳥居昭夫常務理事（出版編集副委員長）より、第4巻1号についての説明があった。

③ 横山彰常務理事（国際交流委員長）より、第4回国際会議の実施報告と、第5回国際会議の準備状況についての説明があった。次いで、荒山裕行常務理事（国際交流副委員長）より、第1回電子ジャーナルの発刊について、説明があった。

④ 守谷基明常務理事（企画副委員長）より、21世紀経済政策フォーラムの実施について説明があった。

⑤ 杉野元亮副会長（研究開発委員長）より、第1回学会賞の選考と表彰について説明があった。

(4) その他

会長より、長期の在外研究時における会費免除について説明があり、これを了承した。

4. 協議事項

(1) 新入会員承認の件

会長より、本年度の入会申込者50名について説明があり、これを承認した。

(2) 平成17年度決算の件

永合位行幹事より、「平成17年度決算書」について説明と香川敏幸会計監事による監査報告があり、これを承認した。なお、香川敏幸会計監事より、単年度の収入と支出関係が赤字となっているので、それを改善する必要があるとの意見が表明された。会長からは、会費納入率について、個人会員94%、学生会員46%、（以上の平均92%）、団体・賛助会員100%であることの補足説明があった。

(3) 平成18年度予算の件

永合位行幹事より、「平成18年度予算書」について説明があり、これを承認した。なお、国際会議の予算は、これまでは開催校に100万円、国際交流委員会の下での国際会議組織委員会に100万円を配分していたが、18年度より開催校に150万円を配分することになった。

(4) 名誉会員推薦の件

次の名誉会員の推薦について承認した。

原 豊 (平成国際大学)

(5) 役員変更の件

次の役員の変更について承認した。

理事 関東部会 今井 勝郎 (帝京大学) → 太田 和男 (東京女学館大学)

中部部会 山田 健治 (椙山女学園大学) → 角本 伸晃 (椙山女学園大学)

(6) 明年度全国大会の件

会長より、第64回全国大会を慶應義塾大学で開催したい旨の提案があり、これを承認した。次いで、開催校を代表して山田太門常務理事 (大会運営委員長) より挨拶があった。

(7) 役員選挙の件

会長より役員選挙の選挙告示があり、それを受けて川野辺裕幸副会長 (組織委員長) より、常務理事の定数、選挙管理委員、役員選出のスケジュールについて説明があり、これを承認した。

(8) 会費改定の件

会長より会費改定について説明があり、これを承認した。平成 19 年度より、下記のように改定される。

個人会員 10,000 円、学生会員 5,000 円 (他の会員は従来通り。)

(9) 規則改正の件

川野辺裕幸副会長 (組織委員長) より、規則改正について説明があり、以下の通り (下線部) 改正することが承認された。

第 3 条 本会の事業は下記の通りである。

1. 研究報告会及び国際会議の開催 毎年各 1 回、適当な地及び時に全国大会及び国際会議を開きその他必要に応じて臨時の報告会を開く。

(以下の項、変更なし)

第 6 条 会員は会費として毎年 4 月下旬の金額を納めなければならない。

1. 個人会員 10,000 円 (平成 19 年度から)
2. 団体又は官庁会員、及び賛助会員 50,000 円
3. 学生会員 5,000 円 (平成 19 年度から)

以 上

学 会 役 員

[50音順（〔歴代会長〕〔理事〕を除く）]

歴代会長

山中篤太郎	(代表 理事)	加藤 寛	(初代 会長)	新野幸次郎	(第二代会長)
藤井 隆	(第三代会長)	柏崎利之輔	(第四代会長)	野尻 武敏	(第五代会長)
植草 益	(第六代会長)	横井 弘美	(第七代会長)	横山 彰	(第八代会長)

名誉会員

越後 和典	尾上 久雄	柏崎利之輔	加藤 寛	五井 一雄
小島 清	小松 雅雄	清水 嘉治	中村秀一郎	新野幸次郎
野尻 武敏	野田 稔	野間 俊威	原 豊	藤井 隆
松浦 茂治	本吉 敬治	横井 弘美	吉田徳三郎	

磯部 喜一	(昭62逝去)	板垣 與一	(平15逝去)	伊東 岱吉	(平8逝去)
伊東 正則	(平18逝去)	梅田 政勝	(昭62逝去)	近江谷幸一	(平17逝去)
加藤 壽延	(平15逝去)	気賀 健三	(平13逝去)	熊谷 尚夫	(平9逝去)
佐藤 芳雄	(平10逝去)	田村 泰夫	(平9逝去)	藤井 茂	(平12逝去)
藤田 敬三	(昭60逝去)	松尾 弘	(平7逝去)	宮城 辰男	(平15逝去)

会 長

丸谷 洽史

副 会 長

川野辺 裕幸 新庄 浩二 杉野 元亮 松原 聡

常務理事

〔関東部会〕

植草 益	(電力系統利用協議会)	川野辺裕幸	(東海大)	熊谷 彰矩	(青山学院大)
黒川 和美	(法政大)	佐々木實雄	(日本大)	神野 直彦	(東京大)
谷口 洋志	(中央大)	鳥居 昭夫	(横浜国立大)	西野 萬里	(明治大)
松原 聡	(東洋大)	山田 太門	(慶應義塾大)	横山 彰	(中央大)

〔中部部会〕

荒山 裕行	(名古屋大)	酒井 邦雄	(愛知学院大)	眞継 隆	(愛知学院大)
-------	--------	-------	---------	------	---------

〔関西部会〕

小西 唯雄	(大阪学院大)	新庄 浩二	(関西学院大)	鈴木多加史	(神戸大)
西田 稔	(関西学院大)	廣江 満郎	(関西大)	丸谷 洽史	(神戸大)
守谷 基明	(関西大)				

〔西日本部会〕

杉野 元亮	(九州共立大)	施 昭雄	(福岡大)	山本 盤男	(九州産業大)
-------	---------	------	-------	-------	---------

会計監事

香川 敏幸	(慶應義塾大)	小林 甲一	(名古屋学院大)
-------	---------	-------	----------

委員会

組織委員会	委員長 川野辺裕幸 事務局長 大村 達彌 委員 伊藤 公一・梅下 隆芳・吉井 昌彦・黒柳 達夫 (組織委員会は、全国選挙管理委員会を兼ねる)	副委員長 酒井 邦雄 事務次長 上沼 正明
地方選挙管理委員会	関東部会委員長 伊藤 公一 + 委員 (部会幹事) 中部部会委員長 梅下 隆芳 + 委員 (部会幹事) 関西部会委員長 吉井 昌彦 + 委員 (部会幹事) 西日本部会委員長 黒柳 達夫 + 委員 (部会幹事)	
出版編集委員会	委員長 新庄 浩二 事務局長 佐々木 實雄	副委員長 佐々木實雄・鳥居昭夫 事務次長 鳥居 昭夫
国際交流委員会	委員長 横山 彰 事務局長 駒村 康平	副委員長 荒山 裕行 事務次長 白川 雄三
企画委員会	委員長 松原 聡 事務局長 福宮 賢一	副委員長 守谷 基明 事務次長 明石 芳彦
研究開発委員会	委員長 杉野 元亮 事務局長 紫藤 義興	副委員長 西田 稔 事務次長 植村 利男
学会賞選考委員会	委員長 黒川和美	

理事

〔関東部会〕

浅野 克己 (駒澤大)	飯田 隆雄 (札幌大)	石井 晴夫 (東洋大)
石川 祐三 (東京国際大)	井手 秀樹 (慶應義塾大)	伊藤 公一 (千葉商科大)
伊藤 文雄 (青山学院大)	岩谷 禎久 (明星大)	牛津 信忠 (聖学院大)
浦上 博達 (城西大)	江川 雅司 (明治学院大)	大岩雄次郎 (東京国際大)
太田 和男 (東京女学館大)	大村 達彌 (慶應義塾大)	岡村 宗二 (大東文化大)
荻野 道雄 (亜細亜大)	小野塚芳雄 (千葉商科大)	上沼 正明 (早稲田大)
菊池 均 (北海商科大)	吉家 清次 (専修大)	樹下 明 (千葉商科大)
熊谷 彰矩 (青山学院大)	栗林 世 (中央大)	小林 逸太 (東海大)
駒村 康平 (東洋大)	佐々木輝雄 (日本獣医生命科学大)	島 和俊 (東海大)
神野 直彦 (東京大)	關 哲雄 (立正大)	瀬野 隆 (国士舘大)
竹内 健蔵 (東京女子大)	武田 巧 (明治大)	田中 則仁 (神奈川大)
田中 廣滋 (中央大)	千田 亮吉 (明治大)	寺西 俊一 (一橋大)
東條 隆進 (早稲田大)	鳥居 昭夫 (横浜国立大)	永井 四郎 (麗澤大)
中野 守 (中央大)	中村 秀一 (千葉経済大)	中村 文隆 (明治大)
名取 昭弘 (亜細亜大)	名和 隆央 (立教大)	長谷川啓之 (日本大)
羽田 亨 (関東学園大)	馬場 正弘 (敬愛大)	原田 博夫 (専修大)
廣瀬 一彦 (拓殖大)	福島 久一 (日本大)	北條 勇作 (高崎経済大)
堀 潔 (桜美林大)	前川 俊一 (明海大)	増田 寿男 (法政大)
益田 安良 (東洋大)	松本 保美 (早稲田大)	丸尾 直美 (尚美学園大)
三宅 忠和 (日本大)	元山 啓 (北海学園北見大)	森崎 初男 (関東学院大)
安田八十五 (関東学院大)	山崎 和郎 (東北学院大)	横倉 尚 (武蔵大)
吉尾 博和 (秀明大)		

(計64名)

〔中部部会〕

梅下 隆芳 (愛知教育大)	大西 幹弘 (名城大)	角本 伸晃 (椋山女学園大)
小林 甲一 (名古屋学院大)	酒井 邦雄 (愛知学院大)	千田 純一 (中京大)
竹内 信仁 (名古屋大)	寺本 博美 (三重中京大)	戸田 信正 (同朋大)
十名 直喜 (名古屋学院大)	長野 達也 (高山短大)	長橋 透 (浜松大)
根津 永二 (愛知学院大)	野方 宏 (静岡大)	鉢野 正樹 (北陸大)
水谷 重秋 (南山大)	村瀬 英彰 (名古屋市立大)	吉田 良生 (朝日大)
渡辺 悌爾 (三重大)	渡辺 俊三 (名城大)	

(計20名)

〔関西部会〕

井口 富夫 (龍谷大)	伊代田 光彦 (桃山学院大)	植田 和弘 (京都大)
上田 雅弘 (松山大)	上野 紘 (奈良県立大)	内山 隆夫 (京都学園大)
大政 憲一 (広島経済大)	柿野 欽吾 (京都産業大)	片山 尚平 (広島修道大)
神 隆行 (大阪学院大)	喜田栄次郎 (岡山商科大)	衣本 篁彦 (近畿大)
郡寫 孝 (同志社大)	桜井 等至 (近畿大)	佐々木雅幸 (大阪市立大)
菅 準一 (尾道大)	高田 亮爾 (流通科学大)	田中 康秀 (神戸大)
田中 美生 (神戸学院大)	土井 教之 (関西学院大)	遠山 嘉博 (追手門学院大)
中野 安雄 (広島経済大)	西田 稔 (関西学院大)	二宮 正司 (大阪経済大)
信吉 史明 (大阪産業大)	廣江 満郎 (関西大)	廣田 俊郎 (関西大)
福田 亘 (神戸大)	二村 重博 (同志社大)	松川 周二 (立命館大)
松水 征夫 (広島大)	宮田由紀夫 (大阪府立大)	安喜 博彦 (関西大)
山口三十四 (神戸大)	山本雄一郎 (兵庫県立大)	

(計35名)

〔西日本部会〕

市川 芳郎 (日本文理大)	今泉 博国 (福岡大)	内山 敏典 (九州産業大)
大城 肇 (琉球大)	古賀 昭典 (宮崎産業経営大)	児島 賢治 (大分大)
末永 勝昭 (九州共立大)	外間 安益 (鹿児島国際大)	塚田 広人 (山口大)
仁部 新一 (九州共立大)	朴 哲洙 (熊本学園大)	原田三喜雄 (西南学院大)
比嘉 堅 (沖縄国際大)	古河 幹夫 (長崎県立大)	本田 廣實 (第一経済大)
三浦 功 (九州大)	宮平 栄治 (名桜大)	三輪 俊和 (北九州市立大)
山本 盤男 (九州産業大)		

(計19名)

(合計138名)

本部幹事

〔関東部会〕

浅野 清彦 (東海大)	伊藤 公一 (千葉商科大)	植村 利男 (亜細亜大)
大岩雄次郎 (東京国際大)	大村 達彌 (慶應義塾大)	上沼 正明 (早稲田大)
駒井 正晶 (慶應義塾大)	駒村 康平 (東洋大)	林 直嗣 (法政大)
原田 博夫 (専修大)	福宮 賢一 (明治大)	松本 保美 (早稲田大)
三宅 忠和 (日本大)	藪田 雅弘 (中央大)	

(計14名)

〔中部部会〕

梅下 隆芳 (愛知教育大)	大西 幹弘 (名城大)	小林 甲一 (名古屋学院大)
竹内 信仁 (名古屋大)	水谷 重秋 (南山大)	渡辺 悌爾 (三重大)

(計6名)

〔関西部会〕

明石 芳彦 (大阪市立大)	清川 義友 (同志社大)	竹下 公視 (関西大)
田中 康秀 (神戸大)	土井 教之 (関西学院大)	箱田 昌平 (追手門学院大)
松水 征夫 (広島大)	柳川 隆 (神戸大)	吉井 昌彦 (神戸大)

(計9名)

〔西日本部会〕

大城 保 (沖縄国際大)	黒柳 達夫 (福岡大)	紫藤 義興 (九州共立大)
外間 安益 (鹿児島国際大)		

(計4名)
(合計33名)

部会幹事

〔関東部会〕

飯島 大邦 (中央大)	臼井 邦彦 (亜細亜大)	岡崎 哲郎 (千葉商科大)
北村 宏隆 (日本大)	瀧澤 弘和 (独立行政法人経済産業研究所)	玉村 雅敏 (慶應義塾大)
千田 亮吉 (明治大)	千年 篤 (東京農工大)	中村 文隆 (明治大)
中村まづる (青山学院大)	林 正義 (一橋大)	

(計11名)

〔中部部会〕

大石 邦弘 (名古屋学院大)	鶴田 利恵 (四日市大)	家森 信善 (名古屋大)
吉田 雅彦 (愛知学院大)		

(計4名)

〔関西部会〕

浅田 正雄 (関西大)	内山 隆夫 (京都学園大)	小林 千春 (同志社大)
白川 雄三 (大阪学院大)	長屋 泰昭 (大阪府立大)	永合 位行 (神戸大)
藤岡 秀英 (神戸大)		

(計7名)

〔西日本部会〕

秋山 優 (九州産業大)	甲斐 明 (九州共立大)	佐々木正廣 (第一経済大)
宮本 昌典 (福岡大)		

(計4名)
(合計26名)

学術機関活動

1. 日本学術会議

評議員

川野辺裕幸

2. IFSSO (国際社会科学団体連盟)
ISSC (国際社会科学協議会)

会 長
シニア・ボード・メンバー

田村 正勝
横井 弘美
藤井 隆

会 員 状 況

1. 会員数

平成 18 年 5 月 30 日現在

		A	B	C	D	E	計
		関東	中部	関西	西日本	海外・その他	
現会員	個人会員	600	141	335	116	11	1,203
	団体会員	2	1	1	0	0	4
	賛助会員	4	0	3	1	0	8
	計	606	142	339	117	11	1,215
新入会員	個人会員	23	4	20	3	1	51
	団体会員	0	0	0	0	0	0
	賛助会員	0	0	0	0	0	0
総 計		629	146	359	120	12	1,266

注 1 前年度退会終了時の会員数は、1,267名である。

注 2 現会員数は前年度会員数から平成 17 年度の退会者数を減じ、所属変更を加減した数字である。

注 3 総計は現会員数に新入会員数を加算した数字である。

2. 会員異動

① 訃報

伊東 正則 (広島経済大)	近江谷幸一 (日本大)
紙屋 英男 (高崎商短大 平成16年11月逝去)	川村 久幸 (木更津市役所)
篠塚 慎吾 (千葉商科大)	鈴木 幸夫 (麗澤大 平成17年3月逝去)
田中 啓一 (日本大)	中山 健 (神戸学院大)
吉澤 昌恭 (広島経済大)	

② 退会者

青木 郁夫 (阪南大)	伊木 誠 (国学院大)
池田 正孝 (中央大)	石田 英樹 (国士舘大 大学院)
伊藤 善市 (東京女子大)	今井 勝郎 (帝京大 平成16年度退会)
今川 健 (中央大)	上原 信博 (静岡大)
宇野 耕治 (大阪産業大 平成16年度退会)	遠藤 哲広 (九州共立大 平成16年度退会)
太田 辰幸 (東洋大)	加藤 敬弘 (高崎経済大)
兼清 弘之 (明治大)	栗田 康雄 (広島経済大)
古結 昭和 (高知大)	小山 博之 (静岡産業大)
近藤 剛 (秋田経済法科大)	鈴木 利治 (東洋大)
高川 清明 (明治大)	只野 文紀 (明治大)
田中 駒男 (早稲田大 平成16年度退会)	田中 充 (関西大 平成15年度退会)
千葉 昌夫 (広島経済大)	陳 子雷 (上海国際問題研究所)
寺田 悦子 (北海学園大)	戸田 弘元 (早稲田大)
長尾 正克 (札幌大)	中島 照雄 (群馬大)
西村万里子 (明治学院大)	長谷川秀男 (高崎経済大)
原田統之介 (志学館大)	米花 稔 (神戸大)
松井 範惇 (山口大)	水村 光一 (日本大)

宗智 宗七 (なし 平成16年度退会)	村田 安雄 (大阪学院大)
村田 幸則 (朝日大)	森 一夫 (同志社大)
森田 寿一 (大阪経済大)	山崎 誉雄 (名古屋学院大)
山崎 良也 (九州産業大 平成16年度退会)	山村 學 (日本大)
吉田真理子 (武蔵大)	ラムステッター, エリック・D. (国際東アジア研究センター)
若井 具宜 (広島県立大)	中部電力株式会社 (賛助会員)

(以上46名)

③自然退会者

(なし)

④自然退会者より復活

(なし)

⑤所属・部会 変更・訂正 (50音順)

名 前	旧 所 属	→	新 所 属	部 会
あ. 朝倉 暁生	江戸川大	→	東邦大	A
い. 伊佐 良次	中央大	→	高崎経済大	A
	石井 晴夫	→	作新学院大	A
う. 植草 益	東洋大	→	電力系統利用協議会	A
お. 大野 泰資	(株)UFJ総合研究所	→	三菱UFJリサーチ&コンサルティング	A
か. 柏木 健一	在エジプト日本大使館経済班	→	筑波大	A
	春日 教測	→	長崎大	D→C
	片山 泰輔	→	跡見学園女子大	A
	川勝 健志	→	佛教大	C
	川島 秀樹	→	九州大	D
き. 衣笠 達夫	流通科学大	→	追手門学院大	C
こ. 小西 一彦	兵庫県立大	→	追手門学院大	C
	小林 好宏	→	札幌大	A
さ. 西藤 真一	関西学院大	→	(財)運輸調査局 情報センター	C→A
	酒井 享平	→	公正取引委員会	A
し. 姫 梅	神戸大	→	大阪産業大	C
	鄒 洋	→	大阪大	C→E
す. 鈴木 章文	三重県政策開発研修センター	→	三重中央大 地域社民研究所	B
た. 田尻 慎太郎	法政大	→	嘉悦大	A
	田中 章介	→	(財)経済調査会	A
ち. 千年 篤	東海大	→	東京農工大 農学部	A
つ. 釣 雅雄	一橋大	→	岡山大	A→C
な. 南波 浩史	滋賀女子短期大	→	徳島文理大	C
に. 倪 春春	東洋大	→	(財)日本エネルギー経済研究所	A
	西山 敦士	→	名古屋大	B
	丹羽 春喜	→	大阪学院大	C
ぬ. 生見 哲郎	名桜大	→	鹿児島国際大	D
の. 野田 裕康	関東学院大	→	駿河台大	A
は. 林 正義	財務省	→	一橋大	A
ふ. 深澤 映司	(株)みずほ総合研究所	→	国立国会図書館 調査及び立法考査局 経済産業課	A
	福山 博文	→	立教大	A→D

	藤岡 明房	敬愛大	→	立正大	A
	二神 律子	三重中京大	→	中部学院大	B
	古川 克	埼玉県立岩槻商業高校	→	埼玉県立鶴ヶ島高校	A
ほ.	細谷 圭	日本学術振興会	→	東北学院大	A
ま.	牧瀬 稔	(財)日本都市センター	→	(財)地域開発研究所研究部	A
	松代 和郎	兵庫県立大	→	なし	C
	松野 由希	法政大	→	(財)運輸政策研究機構 運輸政策研究所	A
み.	宮下 國生	流通科学大	→	大阪産業大	C
	宮本 勝浩	大阪府立大	→	関西大	C
む.	村上 寿来	神戸大	→	(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 長寿社会政策研究所	C
や.	柳澤 智美	三菱信託銀行	→	城西大	A
	山村 謙嗣	NPO法人アニミ	→	コムシス株式会社	A
わ.	渡邊 博子	(財)機械振興協会 経済研究所	→	城西大	A

(平成18年11月6日現在 以上44名)

*所属欄の表記は、所属機関名のみ

3.平成18年度新入会員名簿（申込順）

名前	所属	部会	推薦者
笠原 弘義	麗澤大	A	永安 幸正 永井 四郎
大野 太郎	一橋大*	A	岡田 羊祐 林 正義
木村 啓二	立命館大*	C	寺西 俊一 根本志保子
大島 堅一	立命館大	C	寺西 俊一 根本志保子
山本 智生	中央大*	A	古郡 鞆子 栗林 世
古屋 正明	千葉商科大*	A	小倉 信次 藏田 幸三
鈴木 俊光	中央大*	A	古郡 鞆子 田中 廣滋
赤石 秀之	法政大*	A	横山 彰 丸谷 冷史
王 耀鐘	関西大	C	守谷 基明 丸谷 冷史
石橋 尚平	神戸大*	C	箱田 昌平 田中 康秀
唐 牧	名古屋大*	B	荒山 裕行 園田 正
富田 太郎	大原簿記法律専門学校	A	大村 達弥 井手 秀樹
福永 肇	神戸大*	C	丸谷 冷史 福田 亘
濱本 賢二	松山市役所	C	丸谷 冷史 福田 亘
田口 順等	大阪商業大 アミューズメント産業研究所	C	宮本 勝浩 宮田 由紀夫
木下 信	同志社大*	C	森 一夫 清川 義友
福田 慎	明治大*	A	西野 万里 千田 亮吉
李 玥	神戸大*	C	福田 亘 柳川 隆
増田 幹人	東海大	A	大淵 寛 森岡 仁

藤武 献一	(株)日本総合研究所	C	田中 康秀 丸谷 冷史
佐藤 真行	京都大	C	植田 和弘 西村 周三
伊勢 公人	中央大*	A	藪田 雅弘 中村 光毅
青木 孝子	東海大	A	塚原 康博 千田 亮吉
川崎 晃央	九州大*	D	細江 守紀 三浦 功
永井 真也	四国大	C	丸谷 冷史 石田 和之
加藤 正昭	大東文化大	A	岡村 宗二 渡辺 茂
小菅 一史	日本大*	A	川野辺 裕幸 丸尾 直美
坪田 建明	京都大*	C	植田 和弘 橋木 俊詔
塩谷 英生	(財)日本交通公社	A	名和 隆央 松本 和幸
仲間 瑞樹	山口大	D	松井 範惇 塚田 広人
桑名 謹三	上智大*	A	丸谷 冷史 村上 寿来
前田 章	京都大	C	植田 和弘 丸谷 冷史
熊谷 要一	中央大*	A	横山 彰 川野辺 裕幸
谷田貝 孝	千葉商科大	A	黒川 和美 加藤 寛
平井 友行	千葉商科大	A	加藤 寛 黒川 和美
干場 利則	神戸大*	C	田中 康秀 山口 三十四
大内田 康德	広島大	C	松水 征夫 上田 良文
知足 章宏	立命館大*	C	大島 堅一 木村 啓二
西川 浩平	大阪府立大*	C	宮田 由紀夫
吉岡 祐次	青山学院大	A	熊谷 彰矩 中村 まづる
Ashiq Hussain	Allama Iqbal Open University Islamabad	E	丸谷 冷史
川村 敏也	三重中京大*	B	寺本 博美 芹澤 高斉

稲葉 陽二	日本大 法学部	A	丸谷 冷史 佐々木實雄
宮崎 智視	名古屋学院大	B	小林 甲一 十名 直喜
松本 日彦	関西学院大*	C	西田 稔 土井 教之
新倉 博明	慶応義塾大*	A	大村 達弥 佐藤 浩之
新井 信之	慶應義塾大*	A	大村 達弥 佐藤 浩之
川端 康	三重大 教育学部	B	渡辺 悌爾 鍵田 亨
平田 宏二	福山大	C	掛江 正造 杉野 元亮
永星 浩一	福岡大	D	今泉 博国 杉野 元亮
應 櫻	千葉商科大*	A	西野 万里 千田 亮吉
			以上 51名
	大学名右肩*は学生会員		

日本経済政策学会 平成17年度 決算書

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:円)

収 入			支 出		
摘 用	17年度予算	決算		17年度予算	決算
前年度繰越金	11,568,059	11,568,059	大会費	2,100,000	2,100,000
学会誌回転基金	4,000,000	4,000,000	国際会議費	2,000,000	2,000,000
新規事業積立金	4,000,000	4,000,000	部会費	540,000	540,000
予備費	3,568,059	3,568,059	関東部会	150,000	150,000
会費	9,600,000	9,910,000	中部部会	120,000	120,000
個人	8,500,000	8,810,000	関西部会	150,000	150,000
団体	200,000	200,000	西日本部会	120,000	120,000
賛助	900,000	900,000	委員会費	320,000	183,840
利息等	7,000	-1,478	組織委員会	50,000	0
			国際交流委員会	50,000	0
			出版編集委員会	120,000	183,840
			書評委員会	20,000	
			レフェリー制諸費	100,000	
			企画委員会	50,000	0
			研究開発委員会	50,000	0
			学会誌刊行費	7,500,000	4,635,597
			出版社支払	7,000,000	4,635,597
			編集事務費	500,000	0
			学術会議研究連絡費	50,000	0
			学会連合分担金	35,000	35,000
			本部事務費	3,400,000	2,362,507
			事務諸費	2,000,000	1,634,928
			印刷費	300,000	226,800
			通信費	400,000	241,755
			会議費	700,000	259,024
			国際会議基金払い戻し	24,064	24,064
			学会賞諸費	400,000	8,500
			学会賞	150,000	0
			選考委員会費	250,000	8,500
			名簿・選挙積立金	600,000	600,000
			小 計	16,969,064	12,489,508
			次年度繰越金	4,205,995	¥8,987,073
			学会誌回転基金	2,000,000	4,000,000
			新規事業積立金	1,500,000	3,000,000
			予備費	705,995	1,987,073
総 計	21,175,059	21,476,581	総 計	21,175,059	21,476,581

上記の通り相違ないことを確認いたしました。 平成18年 5月12日 小林 甲一 印
香川 敏幸 印

日本経済政策学会 平成18年度 予算書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:円)

収 入		
摘 用	17年度決算	18年度予算案
前年度繰越金	11,568,059	8,987,073
学会誌回転基金	4,000,000	4,000,000
新規事業積立金	4,000,000	3,000,000
予備費	3,568,059	1,987,073
会費	9,910,000	9,800,000
個人	8,810,000	8,800,000
団体	200,000	200,000
賛助	900,000	800,000
利息等	-1,478	2,000
総 計	21,476,581	18,789,073

支 出		
	17年度決算	18年度予算案
大会費	2,100,000	2,100,000
国際会議費	2,000,000	1,500,000
部会費	540,000	540,000
関東部会	150,000	150,000
中部部会	120,000	120,000
関西部会	150,000	150,000
西日本部会	120,000	120,000
委員会費	183,840	400,000
組織委員会	0	50,000
国際交流委員会	0	50,000
出版編集委員会	183,840	200,000
企画委員会	0	50,000
研究開発委員会	0	50,000
学会誌刊行費	4,635,597	4,700,000
学術会議研究連絡費	0	0
学会連合分担金	35,000	35,000
本部事務費	2,362,507	2,660,000
事務諸費	1,634,928	1,800,000
印刷費	226,800	300,000
通信費	241,755	260,000
会議費	259,024	300,000
国際会議基金払い戻し	24,064	0
学会賞諸費	8,500	160,000
名簿・選挙積立金	600,000	600,000
小 計	12,489,508	12,695,000
次年度繰越金	¥8,987,073	6,094,073
学会誌回転基金	4,000,000	4,000,000
新規事業積立金	3,000,000	1,000,000
予備費	1,987,073	1,094,073
総 計	21,476,581	18,789,073

平成16年度国際会議基金収支報告書

(単位:円)

収 入		支 出	
前年度繰越金	662,274	国際会議費	2,000,000
開設時預金	1,000	次年度繰越	1,038,660
国際会議費	2,000,000		
国際会議余剰金繰り入れ	375,386		
合計	3,038,660	合計	3,038,660

平成17年度国際会議基金 収支報告書

(単位:円)

収 入		支 出	
前年度繰越金	1,038,660	国際会議費	2,000,000
一般会計より返戻	24,064	次年度繰越	1,283,025
国際会議費	2,000,000		
国際会議残金繰り入れ	220,301		
総計	3,283,025	総計	3,283,025

上記相違ないことを確認しました。

平成18年5月12日
会計監事

小林甲一 印
香川敏幸 印

名簿選挙管理関係決算書(平成13年5月～平成16年10月)

(単位:円)

収 入		支 出	
3年間積立金	1800000	会議費・旅費	197100
利子	113	印刷費	655508
		通信費	198240
		事務費	53222
		繰越金	696033
合計	1800113	合計	1800103

上記の通り相違ないことを確認しました。

平成16年10月2日
会計監事

小林甲一 印
香川敏幸 印

名簿・選挙積立金報告書

平成17年4月1日～18年3月31日

(単位 円)

収 入		支 出	
前期余剰金	600,003	次年度繰越金	1,200,011
平成17年度積立金	600,000		
利息	8		
合計	1,200,011	合計	1,200,011

上記の通り相違ないことを確認しました。

平成16年10月2日
会計監事

小林甲一 印
香川敏幸 印

各 部 会 報 告

1. 関東部会

(1) 常務理事・幹事会

日時：平成18年1月22日（日）11:00～13:00

場所：中央大学後楽園キャンパス 3号館14階31401号室

(2) 研究報告会

日時：平成18年1月22日（日）13:30～17:00

場所：中央大学後楽園キャンパス 3号館11階31112号室

（以下敬称略）

13:30-15:00 セッション1 パネル・ディスカッション

13:30-14:00 基調講演：植草 益（東洋大学）

「安全学の構築に向けて：効率と安心の経済政策」

14:00-15:00 パネラー：植草 益（東洋大学）

川野辺裕幸（東海大学）

松原 聡（東洋大学）

コーディネーター：佐々木實雄（日本大学）

15:00-15:15 コーヒーブレイク

15:15-17:00 セッション2 自由論題 座長：熊谷 彰矩（青山学院大学）

15:15-16:00 第1報告：笠原 弘義（麗澤大学）

「株式利得における一部目的税の導入という政策提言：日本における福祉財源の効率的フロンティア」

討論：原田 博夫（専修大学）

16:00-16:45 第2報告：古屋 正明（千葉商科大学）

「ソフトウェア生産工業化システム計画」政策の一考察：1985～90年度のソフトウェア生産性・品質向上プロジェクトの検証」

討論：植村 利男（亜細亜大学）

16:45-17:00 第3報告：播磨谷浩三（札幌学院大学）

「近年の信託業界における規制緩和の効果に関する総括的検証：Distance Function Approachによる効率性の計測」

討論：千田 亮吉（明治大学）

(3) 平成18年度 常務理事・幹事会及び研究報告会のご案内

日時：平成19年1月28日（日）

場所：中央大学後楽園キャンパス 3号館

（横山 彰 記）

2. 中部部会

(1) 工場見学会

1) 開催日 : 平成17年11月25日(金)

2) 場所 : 浜松ホトニクス株式会社 豊岡製作所(超高感度光センサー工場)

(2) 研究報告会

1) 開催日 : 平成17年11月26日(土)

2) 会場 : 静岡産業大学経営学部(磐田キャンパス)

3) プログラム :

【午前の部】 座長 寺村 泰（静岡大学）

(1) 10:10～11:00 論題 : 「動学的枠組みにおける最適関税」

- 報告者：篠崎 剛（名古屋大学大学院）
討論者：芹澤 高斉（三重中京大学）
(2) 11:00～11:50 論題：「企業による立地選択—外国人労働力の受入を考慮した場合—」
報告者：李 昌淑（名古屋大学大学院）
討論者：吉田 良生（朝日大学）

【午後の部】 座長 小山 博之（静岡産業大学）

- (3) 13:40～14:30 論題：「日中韓貿易構造の同質化傾向」
報告者：唐 牧（名古屋大学大学院）
討論者：牧野 好洋（静岡産業大学）
(4) 14:30～15:20 論題：「韓国の生産者責任再活用制度—家電リサイクルの生産者費用負担とリサイクルインセンティブ機能—」
報告者：李 秀澈（名城大学）
討論者：若山 幸則（三重中京大学）
(5) 15:40～16:30 論題：「経済開発と人間開発：『人間開発報告書』1990～2004 の教科書化を終えて」
報告者：足立 文彦（金城学院大学）
討論者：梅下 隆芳（愛知教育大学）

(3) 会員総会

研究報告会午後の部開始前（13:00～13:30），同会場にて開催。「平成17年度収支決算書（案）」および「平成18年度予算書（案）」について審議。両案ともに審議の結果、これを承認。

（渡辺 隆俊 記）

3. 関西部会

(1) 関西部会 2005 年度大会

日時：平成18年3月25日（土） 10:15～14:30

会場：関西大学千里山キャンパス 100周年記念会館

大会実行委員長：廣江満郎 常務理事

出席者：51名

午前の部 座長 廣江 満郎（関西大学）

セッション1

「地銀の預貸利鞘と市場構造—リレーションシップ・バンキングの機能強化政策において—」

報告者 石橋 尚平（神戸大学大学院）

討論者 加納 正二（大阪府立大学）

セッション2

「賦課型社会保障・政策・少子化と消費税による積立型への移行」

報告者 鈴木 康豊（大阪大学大学院）

討論者 岡本 章（岡山大学）

午後の部 座長 小西 唯雄（大阪学院大学）

セッション3

「電力自由化が電力会社の設備投資に及ぼした影響に関する実証分析」

報告者 木下 信（同志社大学大学院）

討論者 桑原 秀史（関西学院大学）

※ 当初セッション3に続いてシンポジウムの開催が計画されていたが、その基調講演者である張暉明氏（復旦大学太平洋金融学院院長）の来日が急遽不可能となり、中止となった。

(2) 工場見学会

日 時：平成 17 年 11 月 29 日（火）13：30～16：30

見学先：中小企業基盤整備機構クリエイション・コア東大阪

担 当：箱田昌平幹事（追手門学院大学）

出席者：20 名

(3) 常務理事・幹事会

1) 日 時：平成 17 年 9 月 16 日（金）14：00～15：45

場 所：アサヒビール梅田会議室

議 事： ①関西部会 2005 年度大会について
②工場見学会について
③第 4 回国際会議について
④本部会務報告

2) 日 時：平成 18 年 2 月 23 日（木）14：00～16：15

場 所：神戸大学貴賓室

議 事： ①関西部会 2005 年度大会について
②関西部会 2006 年度大会と工場見学会について
③関西部会報告
④本部会務報告

3) 日 時：平成 18 年 3 月 25 日（土）12：15～13：20

場 所：関西大学千里山キャンパス 100 周年記念会館会議室

議 事： ①関西部会 2006 年度大会開催校について
②関西部会 2006 年度工場見学会について
③関西部会会計報告
④関西部会報告と本部会務報告

（田中 康秀 記）

4. 西日本部会

(1) 第 76 回（春季）大会

開催日：平成 17 年 4 月 23 日（土）

（開催校：九州共立大学・大会運営委員長 杉野元亮）

常務理事・理事・幹事会および総会議事

- 1) 平成 16 年度収支報告について
- 2) 常務理事会報告
- 3) 第 63 回全国大会開催校について
- 4) 第 77 回大会について

研究報告会

【第一報告】座長 朴 哲洙（熊本学園大学）

「技術特化とイノベーション——台湾・韓国の比較研究（仮題）」

報告者 宮城 和宏 尹 明憲（北九州市立大学）

討論者 施 昭雄（福岡大学）

【第二報告】座長 原田三喜男（西南学院大学）

「構造改革と日本経済」

報告者 末永 勝昭（九州共立大学）

討論者 市川 芳郎（日本文理大学）

【卓 話】座長 山本 盤男 (九州産業大学)
「スペイン、ドイツの家庭生活と福祉国家」
報告者 塚田 広人 (山口大学)

(2) 第77回(秋季)大会

開催日：平成17年10月1日(土)

(開催校：福岡大学・大会運営委員長 施 昭雄)

常務理事・理事・幹事会および総会議事

- 1) 常務理事会報告
- 2) 第63回全国大会について
- 3) 第78回地域部会について

研究報告会

【第一報告】 座長 今泉 博国 (福岡大学)

「コールセンター産業のアーキテクチャと産業集積への政策課題
——沖縄MMI構想へのインプリケーション」

報告者 宮城 和宏 (北九州市立大学)

討論者 仁部 新一 (九州共立大学)

【第二報告】 座長 宮本 昌典 (福岡大学)

「近年の医療・福祉分野における雇用動向について」

報告者 朝田 康禎 (熊本大学)

討論者 秋山 優 (九州産業大学)

(杉野 元亮 記)

全国常務理事会 報告

平成 18 年度 全国常務理事会議事要録

1. 日時：平成 18 年 9 月 14 日(木曜)，13：00～18：30

2. 場所：神戸大学経済学部 会議室

3. 議事

(1) 第 10 期役員選挙について

丸谷会長より内規第 2 条に則って、選挙による常務理事数の部会ごとの按分案が示され承認された。

(2) 学会規則・内規改正について

川野辺組織委員会委員長より、2006 年 5 月 27 日の「学会規則改正に伴う役員選出内規および会務運営細則覚書」の改正に関する確認と、「会務運営細則に関する覚書」の内容について削除、訂正の必要性が説明され、「覚書」の訂正に関する審議が行われた。

「7. 本部会務」に関しては、「7-5 科研費補助金の審査」「7-7 日本学術会議の会員選挙」の 2 項目の削除、ならびに「7-6 年報の発行に関する科研補助金の申請」に関して訂正を行うことが承認された。また、今後の検討事項として、「地方部会会務」に関する条項を新たに設けること、および「理事会議長の選任方法」について意見が交換された。

(3) 第 64 回全国大会について

山田太門常務理事より、第 64 回全国大会のプログラム委員会の発足と共通論題案「世界の中の日本～構造改革の先にあるもの～」の趣旨説明が行われ了承された。3 つのサブセッションのテーマについては後日各常務理事に提示され、次回に検討されることになった。

(4) 第 5 回国際会議について

青山学院大学熊谷常務理事より、報告者、予定討論者、座長に関するプログラム原案の詳細について説明があり了承された。

(5) 平成 18 年度学会賞について

杉野副会長（学会賞選考委員長代行）より、厳正な審査の結果として、本年度の学会賞ならびに研究奨励賞ともに該当者がなかったことが報告された。

(6) 各種委員会・部会報告

編集委員会、国際交流委員会、企画委員会、研究開発委員会の各常務理事から報告が行われた。

関西部会、西日本部会、中部部会の各部会の活動報告が行われた。

(7) その他

- 丸谷会長より「会長の選出方法」について発議が行われ、部会をベースとした選出に柔軟性を含ませる方向での見直しが提案され、今後、見直しに関する審議を進めることが了承された。
- 杉野常務理事より、全国大会の開催校のホームページに掲載されたプログラムと報告要旨を本部のホームページで管理することの課題が示された。
- 丸谷会長より、関西部会から小西常務理事を名誉会員に推薦されたことが報告され承認された。

委員会 報告

1. 組織委員会

役員選出内規改正について

2006 年度総会において、地方部会代表を学会役員として学会規則に明文化されたのにもない、2006 年 9 月 14 日の常務理事会において、「役員選出内規」を改正し、役員選出方法を下記の通り明記した。

なお、地方部会代表は、現在、各地方部会活動の運営、常務理事選挙の運営等に当たっているが、活動内容は地方部会ごとに異なるため、実情を把握した上で、後日「会務運営細則に関する覚書」の改正を行う予定である。

役員選出内規改正箇所

第 1 章 総則

第 1 条 (追加) 本会規則第 12 条、~~及び~~第 13 条及び第 14 条に定める常務理事、地方部会代表及び理事の選出は本内規により行う。

第 3 章 (新設) 地方部会代表の選出

第 12 条 (新設) 各地方部会代表は、会長が当該地方部会から選出された常務理事と協議の上で、当該地方部会の会員の中から選出し、常務理事会の承認を得るものとする。

第 4 章 理事の選出 (順次、章条項を下げる、以下略)

第 1 3 条 (旧第 1 2 条) 理事の選出は………

(以下、順次条項を下げる、以下略)

2. 出版編集委員会

経済政策ジャーナル第 3 巻 2 号 (学会特集号) を平成 18 年 5 月に刊行したが、第 4 巻 1 号も年度内に刊行するよう準備を進めている。

3. 国際交流委員会

電子ジャーナルの発刊について

国際会議の報告論文をベースにした電子ジャーナル International Journal of Economic Policy Studies vol.1 を平成 18 年 10 月に刊行した。7 本の査読にパスした論文を掲載している。学会ホームページから IJEPS にリンクされている

URL は

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jepa/ijeps_2006/index.html

である。なお本ジャーナルのアップロードはとくに神隆行、吉井昌彦 IJEPS 編集委員による高度に技術的な作業によって可能になった。この場を借りて感謝の意を表す。

4. 企画委員会

平成 18 年 3 月に予定していた 21 世紀政策研究フォーラムはゲストにお招きしていた中国復旦大学張暉明教授の来日が難しくなり中止のやむなきにいたった。

5. 研究開発委員会

第 2 回学会賞の選考：今年度は受賞者無しという結果になったが、会員各位の理解と奮起を促すために学会賞の目的と選考方針に関する文書を作成した。(次頁参照)。

全国大会・国際会議（平成19年度）のご案内

第64回全国大会

1. 日時 平成19年5月26日（土）～27日（日）
2. 場所 慶應義塾大学三田キャンパス
3. 共通論題 「世界の中の日本～構造改革の先にあるもの～」
4. 大会準備委員長 山田 太門常務理事

第6回 国際会議（6th JEPA International Conference）

1. 日時 未定
2. 当番校 法政大学

その他

1. 学会賞について

全国常務理事会の報告にございますように、学会賞選考委員会の厳正な選考の結果、平成18年度学会賞は学術賞、研究奨励賞ともに受賞者なしと決定されました。誠に残念な結果でございますが、とくに選考委員会から下記の文書が会長宛提出されました。ここに全文を掲載し、会員各位のご参考にしていただければと存じます。

日本経済政策学会「学会賞」選考について

学会賞選考委員会

2005年度大会より若い研究者の方々に刺激を与え才能を伸ばすという意図で日本経済政策学会に「学会賞」が設けられました。第2回目を迎えましたがエントリーされた方が期待したほど多くはございませんでした。次年度以降、多くの対象者の方にご応募いただきたいと思っております。日本経済政策学会「学会賞」選考委員会では次のような点に重きを置き評価いたしております。

- (1) 経済政策に寄与するという観点から、政策理論および政策的なインプリケーションに重きを置き選考を行います。例えば、学会賞は「より優れた政策理論および政策的なインプリケーションを示すことに成功した論文」、奨励賞は「優れた政策理論および優れた政策的インプリケーションの導出につながると判断されるような意欲的論文」を高く評価します。
- (2) エントリーされた論文の一部修正（手直し）、書き直しをすることにより論文の質が高まる可能性がある場合、修正を条件（前提）に再審査をおこないたいと思います。（学会賞を授与されたら「経済政策ジャーナル」の学会特集号へ掲載されます。）
- (3) 論文の中に先行研究の動向と著者の貢献（オリジナルな点）を明らかにしていただきたいと思っております。

以上

* *****

本部宛寄贈刊行物

(図書・雑誌別 雑誌は編者 (発行所) の50音順)

① 図書の部 (著者からのご寄贈)

著者名	書名
藤井 隆	人類社会経営論
丹羽 春喜	新正統派ケインズ政策論の基礎 - 真理を簡明な論理と実証で -

② 雑誌の部 (編者からの寄贈)

編者 (発行所)	誌名・巻号 (発行年)
久留米大学産業経済研究会	産業経済研究 第46巻第1・4号 (2005-6)
久留米大学産業経済研究所	紀要 第30集: 郵政民営化と経済学 (大矢野栄次著) (2006)
久留米大学商学会	[久留米大学] 商学研究 第11巻第3-4号 (2005-6)
東京大学経済学研究会	[東京大学] 経済学研究 48 (2006)
日本経済学会連合	Information Bulletin of The Union of National Economic Associations in Japan No. 25 (2005)
桃山学院大学総合研究所	[桃山学院大学総合研究所] 紀要 Vol. 31, No. 1-3 (2005-6)
〃	Vol. 32, No. 1 (2006)
桃山学院大学総合研究所	研究叢書 21: 激動する世界、翻弄される日本 (松村 昌廣 著) (2005)
〃	22: 善隣協会の日々-都竹武年雄談話記録- (小長谷 有紀 他編) (2006)
〃	23: オホーハラへと『薬師経』の関係 -ヤクシーケクワの成立に連動して起こったハラへの変貌- (小林 信彦 著) (2006)

訃 報

次の会員についてお届けがありました。

ご冥福をお祈りいたします。

新田 光重 葛西 孝平

日本経済政策学会本部・部会事務局連絡先

本部事務局：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
神戸大学大学院経済学研究科 気付（丸谷 洽史）
TEL. 078-803-6826（丸谷研究室） 078-803-6854（大学院事務局）
Fax. 078-803-6826（丸谷研究室） 078-803-7293（大学院事務局）
E-mail : jepa@kobe-u. ac. jp

関東部会事務局：〒192-0393 八王子市東中野742-1
中央大学総合政策学部 気付（横山 彰）
TEL. 0426-74-4111（学部事務局） 0426-74-4148（横山研究室）
Fax. 0426-74-4118
E-mail : yokoyama@fps. chuo-u. ac. jp

中部部会事務局：〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
愛知学院大学産業科学研究所 気付（眞継 隆）
TEL. 05617-3-1111
Fax. 05617-3-9305

関西部会：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
神戸大学大学院経済学研究科 気付（田中 康秀）
TEL/Fax : 078-803-6803（田中研究室）
TEL. 078-803-6854（大学院事務局）
Fax. 078-803-7293（大学院事務局）
E-mail : tanaka@econ. kobe-u. ac. jp

西日本部会：〒803-8585 北九州市八幡西区自由が丘1-8
九州共立大学 気付（杉野 元亮）
TEL/Fax : 093-693-3013
E-mail : sugino@kyukyuu-u. ac. jp

ホームページ：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jepa/indexj.html>